

CallManager 会議ブリッジの状態： KEEPALIVE_FAILED

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[KEEPALIVE_FAILED 状態に陥った会議ブリッジ](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco CallManager 会議ブリッジが失敗して KEEPALIVE_FAILED というエラーメッセージが表示される場合のトラブルシューティング方法を説明します。会議ブリッジが修正されるまで、場合によっては無期限の期間使用できなくなります。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco CallManager 4.1(3)および Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.3 が稼働している Cisco 2800 シリーズ ルータに基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

ハードウェア対応の会議は、ハードウェアでの音声会議をサポートします。デジタルシグナリングプロセッサ (DSP) が、複数の Voice over IP メディア ストリームを単一の電話会議ストリームに混合された TDM ストリームに変換します。サポートされる電話会議の数は、使用可能な DSP の数に左右されます。そのため、会議ブリッジを適切に終了しないと、DSP を再利用できません。IOS ゲートウェイで会議ブリッジを設定する方法に関する詳細については、「[CallManager および IOS ゲートウェイ DSP ファームの設定例](#)」を参照してください。

KEEPALIVE_FAILED 状態に陥った会議ブリッジ

電話会議がアクティブな間に、Cisco CallManager が登録された会議ブリッジに到達できなくなった場合、会議ブリッジは KEEPALIVE_FAILED 状態になります。さらに、会議ブリッジは、すべての参加者が電話会議からなくなった後も、おそらく WAN 経由で長時間メディア信号を送信し続け、DSP リソースは他の電話会議に再利用できません。

解決策

KEEPALIVE_FAILED のエラーは、会議ブリッジがクラスタ内で使用可能な別の CallManager スイッチにスイッチバックしないために発生します。この問題を解決するには、ゲートウェイでスイッチオーバー メソッドを使用するように指定する必要があります。

アクティブな Cisco Unified CallManager と Skinny Call Control Protocol (SCCP) クライアント間の通信リンクがダウンすると、SCCP クライアントは次のいずれかのスイッチオーバー メソッドを使用してセカンダリ Cisco Unified CallManagers の 1 つに接続しようとします。

- **Graceful** : Cisco Unified CallManager のスイッチオーバーは、すべてのアクティブ セッションが正常に終了した後にのみ実施されます。デフォルトの方法は次のとおりです。
- **Immediate** : アクティブな接続があるかどうかにかかわらず、SCCP クライアントがセカンダリ Cisco Unified CallManager のいずれかにただちにスイッチオーバーします。SCCP クライアントがセカンダリ Cisco Unified CallManager に接続できない場合、そのクライアントは Cisco Unified CallManager の接続にポーリングし続けます。

1. スwitchオーバー メソッドは、`sccp ccm group` 設定で指定できます。

```
gateway(config)#sccp ccm group 1
```

```
gateway(config-sccp-ccm)#switchover method immediate
```

注: dspfarm で電話会議用に複数のプロファイルを設定しているのであれば、スイッチオーバー メソッドを **graceful** として使用します。

2. メディア メッセージを送信するメディアブリッジを終了するには、RTP メッセージがタイムアウトする必要があります。これは、ゲートウェイ設定で受信 RTP タイマーを変更する際に実行できます。

```
gateway(config)#gateway
```

```
gateway(config-gateway)#timer receive-rtp 180
```

デフォルトのタイムアウトは 1200 秒 (20 分) 後にのみ実行されます。

関連情報

- [ハードウェアによる会議ブリッジの設定と CallManager および Catalyst 6000/6500 WS-X6608 ポートでの使用](#)
- [会議ブリッジの設定](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)